

ご存知でしたか？

介護する方の腰痛予防と介護される方の安全のために

腰痛予防指針が見直されています！！

- ・あなたの施設(職場)では介護者の腰痛予防対策をされていますか？
- ・外国人技能実習生や技能人材の方たちの腰痛予防対策をされていますか？

腰痛による離職される方を無くしましょう！！

使用する場面にあったリフトがあります



職場における腰痛予防対策指針

移乗介助、入浴介助及び排せつ介助における対象者の抱え上げは、労働者の腰部に著しく負担がかかることから、全介助の必要な対象者には、リフト等を積極的に使用すること。

リフトのある生活委員会



お問い合わせ JASPA介護リフト普及協会 事務局 岡田
(株式会社ミクニザイマス内)
TEL 03-3833-0395 Mail t_okada@mikuni.co.jp
日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会 事務局 村木
TEL 03-5291-6231 Mail care@zaitaku-jokusou.info

ご存知でしたか？

介護職員処遇改善加算などの算定要件の「職場環境等要件」の中の区分の内、『生産性向上(業務改善及び働く環境改善)のための取組』として「②介護ロボット(見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等)又はインカム等…略…の導入」が取り組むべき事項の項目の1つになっています。

=介護リフトの助成金のご紹介=

エイジフレンドリー補助金 令和7年度

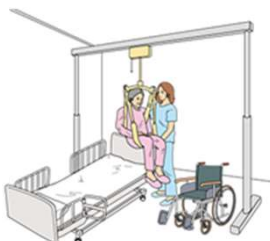
- 日程** 5月上旬から10月末日までの予定 (まだ、詳細は未掲出)
- 対象** 1年以上事業を実施している事業場において、高年齢労働者の身体機能の低下を補う設備・装置の導入その他の労働災害防止対策に要する経費
- ★ 重量物取扱いや介護作業における労働災害防止対策(腰痛予防対策)
 - 介護における移乗介助の際の身体的負担を軽減する機器の導入
 - 介護における入浴介助の際の身体的負担を軽減する機器の導入
 - 介護職員の身体負担軽減のための介護技術(ノーリフトケア)の修得のための教育の実施
- 要件** 60歳以上の高年齢労働者を常時1名以上雇用している中小企業の規模の医療・福祉施設などで労働保険に加入している施設
- 助成** 高年齢労働者のための職場環境改善に要した経費(物品の購入・工事の施工等)
補助率1/2 上限は100万円
- エイジフレンドリー総合対策コース(新設)**
⇒ 専門家によるリスクアセスメントを実施し、優先順位の高い対策に要した経費
補助率4/5 上限は100万円
- 申請先** (一社)日本労働安全衛生コンサルタント会「エイジフレンドリー補助金事務センター」
<https://www.jashcon-age.or.jp> Tel 03(6381)7507



介護テクノロジー導入支援事業(R7年度)

- 補助対象** ※R7年度より、介護ロボットの定義が下記のように変更となった。
【介護ロボット】
「介護テクノロジー利用における重点分野」(令和7年度より改定)に該当する介護ロボット(カタログ方式を導入) ⇒ ほぼすべての介護リフトが対象
「福祉用具情報システム」((公財)テクノエイド協会) で「介護テクノロジー」として選定された機器
<https://www.technoaid.or.jp/ServiceWelfareGoodsList.php>
- 補助額** 上限100万円 必要台数
補助率 必要要件を満たす場合は3/4を下限(他の場合は1/2を下限)
- 申請先** 申請の流れや申請の期限は都道府県によって異なるため、詳しくは事業所が所在する都道府県のホームページを確認してください。

リフトのある生活委員会



お問合せ JASPA介護リフト普及協会 事務局 岡田
(株式会社ミクニザイマス内)
TEL 03-3833-0395 Mail t_okada@mikuni.co.jp
日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会 事務局 村木
TEL 03-5291-6231 Mail care@zaitaku-jokusou.info